

木造建築と災害

建築研究所材料研究グループ長 槌本敬大 氏

近年、震災や風水害などの激甚災害の発生が急増しています。木造建築もその被害に直面する機会が増え、その都度、木造建築の脆弱性が否定的なニュアンスで報道されることもあります。しかし、科学的な視点からみると、このような批判は必ずしも的を射ていない例も多く、例えば、阪神淡路大震災では、多くの木造建築が倒壊していると報道されましたが、調査の結果、その多くは、昭和 56 年以前の旧耐震基準であったこと、不適切な増改築が散見されたことなどが報告されています。

2024 年 7 月の月例研究会では、木造建築と災害との関係を深く理解し、木質構造の災害に対するレジリエンス（対応力）についてディスカッションしたいと考えています。そこで、国立研究開発法人建築研究所材料研究グループ長の槌本敬大氏をお招きし、最近の震災や風水害などの災害による木造建築の被害状況、その要因、建築基準関係法令の改正など今後に向けた対策について解説して頂きます。槌本氏は木質材料および木質構造の性能評価がご専門で、震災による木造建築の被害状況調査を多数実施されております。また、関係法令等の整備にも、専門家の立場から関わっておられます。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。

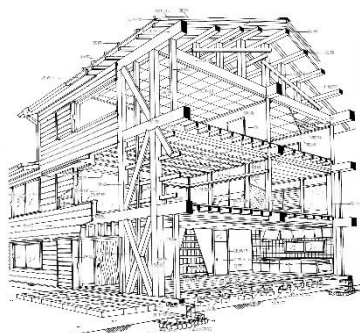


～ 記 ～

- 会 場： 2024 年 7 月 11 日（木） 17：30～19：00（17：00 より配信開始）
- 会 場： ZOOM を利用したオンライン会議形式
- 主 催： 木材利用システム研究会
- 参 加 費： 会員：無料、非会員：3,000 円
- 申込期限： 2024 年 7 月 8 日（月）
- 申込方法： 研究会 HP（<https://www.woodforum.jp/>）よりお申込み下さい。

※ZOOM への登録方法については、お申込みいただいた方に、

研究会前日の午前中にお知らせいたします。



木材利用システム研究会事務局：（長坂、知念）
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7 号館 B 棟 438 室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915
メール：info@woodforum.jp